



学校だより

薫る双葉

令和8年6月30日

～チームワーク・フットワーク・ネットワーク～

第6号

前号に引き続き、校外学習や〇〇教室で学びを得た、児童の感想紹介第4弾です。

6月19日 6年生 「土器・火起こし体験」

僕が土器体験で楽しかったことは二つあります。一つ目は黒曜石で新聞紙を切ったことです。理由は、スムーズに切れて気持ちよかったからです。二つ目は土器の一部を擦り出して模様を描いたことです。理由は、模様が綺麗だったからです。初めて土器に触れて嬉しかったです。

次に火起こし体験をしました。僕はこする棒を押さえる役割でした。押さえる役割は動かないように押さえるのが大変だったけど、火がついて嬉しかったです。

【6年1組 小橋 七輝 さん】

今回の体験で、昔の人の暮らしの苦労や、工夫に感動しました。黒曜石で新聞紙を切った時は、ハサミのような切れ味で驚きました。

また、本物の土器に触れて、教科書とはちがう魅力を感じました。

一番大変だった火起こしでは、焦げた匂いがするのになかなか火が点かず、悔しい思いもしましたが、先生と協力して点いた時はとても嬉しかったです。一つの火を灯すのにも多くの時間と工夫が必要で、昔の人は本当にすごいと思いました。

【6年2組 林 想代香 さん】

6月23日 2年生 町探検

6月23日火曜日に、町たんけんに行きました。

一ばん目に気にいったのは、ボン・マルセです。わけは、かいだんの手すりが金色だったからです。

二ばん目に気にいったのはドゥ・マルセです。わけはコナンのはたと、ポスターがあったからです。

三ばん目に気にいったのは、自てん車に乗っていたチーバくんです。自てん車の下にある土台に文字があるのがよかったです。

楽しかったので、また行きたいです。

【2年1組 岩田 悠汰 さん】

町たんけんに行きました。さいしょに行ったしい名しょうてんに、あんなにいっぱいものがあるとは思っていなかったの、びっくりしました。

自てん車やさんには行ったことがなかったです。おかしやさんにも行ってみたいです。ひまわり手げいてんものしそでした。

一ばん心にのこったところは、うえ田やというおみやげものやさんです。いろんな貝がらがありました。すごくかわいかったです。

【2年1組 信田 美嘉 さん】

「いのちを大切にする集会」での委員会から大事なお知らせ

【放送】… 放送の時間に、「いのち」に関する本の読み聞かせをしています。真剣に聞いてください。

【給食】… すききらいせず、残さず給食を食べましょう。多目的ルームのポスターもみてください。

【企画】… 友達にふわふわ言葉をつかえていますか。友達のいいところをたくさん見つけて笑顔いっぱい双葉小にしていきましょう。

【栽培】… 植物にも大切ないのちがあります。鬼ごっこなどで花だんにはいらなくてください。

【保健】… 自分の日頃的生活習慣を見直して、心も体も健康に過ごしましょう

【図書】… 窓辺に「いのち」に関する本が置いてあります。ぜひ読んでみてください。

【環境】… みなさんとゴミを拾ったり、くつをそろえたりして、学校をきれいにしていましよう。

【体育】… 自分の「いのち」「健康」のために、外で元気に体を動かしましょう。

☆ 学校からのお願い ☆

1 わたしにとって「忘れてはいけない日」

八街市で下校途中だった市立朝陽小学校の児童5人が、飲酒運転のトラックにはねられて死傷した事故から、今年の6月28日で5年となりました。

全国ネットの報道番組でも頻繁に取り上げられていましたから、保護者の皆さんにも記憶に新しいかもしれません。

事故の概要です。

2021年6月28日午後3時半頃、八街市立朝陽小学校の通学路となっている市道で、下校途中だった市立朝陽小児童の列に大型トラックが突っ込み、1～3年生の5人が巻き込まれました。5人のうち、2人が心肺停止でしたが、死亡が確認され、1人が意識不明の重体、2人が重傷を負うという凄惨な事故でした。

運転手の男性の呼気からは基準値を超えるアルコールが検出され、飲酒運転であることが判明しました。また、事故当時は、アルコールの影響により居眠り状態だったとされていました。

私は、当時学校現場を離れ、県の行政機関に出向いており、市の教育委員会と共にこの凄惨な事故への対応に関わっていました。

子供達への影響が大きかったことから、翌29日から7月1日まで学校は臨時休校となり、市は、学校再開後に登下校時に事故現場を通る児童生徒を対象に、一定期間送迎バスを運行しました。

また、学校や市の教育委員会はスクールカウンセラー（県からも派遣）を重点配置するなどして児童の心のケアに努めましたが、この事故の子供達への影響は計り知れず、落ち着くまで相当の時間を要したと記憶しています。

このように、自分がどれだけ気を付けていても、事故に巻き込まれてしまうことがあります。

だからこそ、なおさら、自分が注意することで防げる事故は、自分の力で絶対に防がなければならないと考えています。

「絶対大丈夫」はありえません。「もしかしたら…」と考えることが、自分の命を守る最大の自己防衛です。

双葉小の子供達には、自分の命、そして他を思いやる心を大切にする人になってほしいと願っています。

銚子市立双葉小学校 校長 小林 健一